

子どもとお手伝い

無理にお手伝いの場を作ろうとしてもなかなか、うまくいきませんよね！

子どものための包丁を用意して、「さあ、切ってみよう」というのは、子どもの遊びにつきあうのと同じで、余裕がある時はいいですが、毎日なかなか続かないのが現実です。

「お手伝いさせよう」ではなく、大人が家事をしている中で、「〇〇ちゃん、お願い」と声をかけてする事がいいですね。

子どもの成長によっても、出来る事が違いますが、野菜の皮むきの場合、包丁を使うのがまだ無理ならピーラーを使うなど、出来る事を出来る方法でしてみましょう。

子どもが「やりたい！」と興味を持つ事は、“出来る力”が育っている証拠です。

大人に余裕がある時は、力を信じてやらせてみましょう。

成長するに従って出来る事が増え、子どもの自信につながります。

お手伝いしてくれたら、「ありがとう」「助かったわ」の言葉を忘れずに！

子どもは役に立てたうれしさを実感し、「またやりたい」という意欲や自己肯定感が育まれます。

何より日々の中で、子どもも無理なく自然に続けられるのが一番です。

家事を一緒にやる楽しさが、体の中にしみこんでいくと、成長してからも「お願い！」のひと言で動いてくれるようになるものです。

子どもに自信を持たせたり、家族のつながりを深めてくれるお手伝いを、生活の中で、どんどんさせてあげて下さい。